

< 一般委託 >

電動弁点検業務委託 仕様書

電動弁点検業務委託に基づく内容は、本仕様書の定めるところによる。

1	目的	本点検業務は、電動弁の性能を維持するために行うものである。
2	履行期間	契約の日から令和3年3月12日
3	施行場所	海老名市社家4587番地 ほか21か所
4	業務内容	特記仕様書のとおり
5	特記事項	特記仕様書のとおり
6	関係法規	
7	資格要件	
8	契約方法	総価による業務委託契約(一般委託)
9	支払方法	委託料の支払いは、業務完了後一括払いとする。
10	その他事項	この仕様書に定めのない事項及び疑義を生じた場合は、別途協議するものとする。
11	監督員 連絡先	横須賀市上下水道局 技術部 浄水課 川名 翔悟 TEL 046-823-0604

< 指示又は希望事項 >

グリーン 物品購入 及び 環境配慮 関係	<p>・この業務を施行するにあたって、仕様書でグリーン物品購入の指示がある場合は、横須賀市グリーン購入基本方針及び調達方針に基づく環境物品等を納入すること。また、仕様書で特に指示がない場合で委託代金に物品等の購入経費が含まれている場合は、できるだけこの方針に基づく環境物品等の調達をお願いします。</p> <p>(上記方針については、本市のホームページ「よこすかのグリーン購入」参照)</p> <p>・本市は、独自の環境マネジメントシステム(YES)により事務事業の環境負荷低減に努めているので、受託者においてもできる限り環境に配慮して業務を執行するようお願いします。</p>
----------------------------------	--

電動弁点検業務委託 特記仕様書

1 点検場所

- | | |
|-----------------|------------------------|
| (1) 社家導水ポンプ所 | 海老名市社家 4587 番地 |
| (2) 有馬浄水場 | 海老名市中河内 1767 番地 |
| (3) 田浦配水池 | 逗子市沼間 6 丁目 17 番 |
| (4) 田浦第 2 配水池 | 横須賀市船越町 2 丁目 41 番地 |
| (5) 鷹取高区配水池 | 横須賀市湘南鷹取 4 丁目 7 番 |
| (6) 十三峠配水池 | 横須賀市長浦町 3 丁目 54 番地 |
| (7) 逸見総合管理センター | 横須賀市西逸見町 2 丁目 10 番地 |
| (8) 湘南国際村配水池 | 横須賀市湘南国際村 3 丁目 1 番 1 号 |
| (9) 池上ずい道配水池 | 横須賀市池上 7 丁目 24 番 1 号 |
| (10) 阿部倉配水池 | 横須賀市阿部倉 32 番 |
| (11) 森崎配水池 | 横須賀市森崎 5 丁目 1 番 |
| (12) 長沢低区配水池 | 横須賀市岩戸 5 丁目 6 番 |
| (13) 長沢高区配水池 | 横須賀市岩戸 4 丁目 6 番 |
| (14) 岩戸配水池 | 横須賀市粟田 1 丁目 1257 番地 47 |
| (15) 武山配水池 | 横須賀市武 1 丁目 17 番 |
| (16) 武山高区配水池 | 横須賀市武 3 丁目 3717 番地 3 |
| (17) 鴨居配水池 | 横須賀市小原台 55 番 |
| (18) 浦賀高区配水池 | 横須賀市浦賀丘 1 丁目 16 番 |
| (19) 吉井高区配水池 | 横須賀市吉井 1 丁目 485 番地 9 |
| (20) 三浦分水武 | 横須賀市武 1 丁目 21 番地 |
| (21) 三浦分水津久井計器室 | 横須賀市津久井 1 丁目 4 番地 |
| (22) 三浦分水津久井第 2 | 横須賀市津久井 4 丁目 12 番 |

2 点検対象機器

別紙のとおり

3 点検内容

(1) 弁体

- ア 外観点検
- イ 消耗品の交換（グリース等）
- ウ 整備及び増締め
- エ 剥離部の塗装
- オ 清掃

(2) 電動制御部

- ア 外観点検（腐食・破損など）
- イ 消耗品の交換（グリース、パッキン、劣化部品、シール材等）
- ウ 機構点検（手動 - 電動切替、カム機構、ギヤ機構等）

エ 制御装置点検（インターロック、トルクスイッチ、リミットスイッチ、スペースヒータ等）

（ア）接点等の摩耗状態確認

（イ）位置、隙間調整

（ウ）接点清掃

オ 開度計点検

カ 開度発信器点検

キ 電動機点検

ク 絶縁抵抗測定

（ア）電動機、制御部

（イ）制御盤、ケーブル

ケ 剥離部の塗装

コ 清掃

サ 試験調整（制御盤の表示確認を含む）

（3） その他必要事項

4 その他

（1） 作業日程は、事前に監督員と協議すること。なお、天候により変更することがある。

（2） 操作場所と点検場所が離れている場合は、確認連絡ができるものを用意すること。

（3） 遮断弁の点検は、バイパス弁が開いていることを確認してから行うこと。

（4） ピット内作業の際は、有資格者が酸素濃度等の測定を行い、必要があれば換気すること。

（5） ピット内に水が溜まっている場合は、排水ポンプにて排水すること。

（6） 軽微な補修は、受託者の負担とする。

（7） 提出書類

ア 作業日程表（任意様式）及び作業員名簿（任意様式）を1部提出すること。

イ 作業日報（任意様式）を1部提出すること。

ウ 点検報告書（任意様式）は、以下の内容を含めて2部提出すること。

（ア）点検機器の種別、型式、口径、製造番号、製造年月、電動機出力等を記載すること。

（イ）酸素濃度測定値を記載すること。

（ウ）交換部品及び不具合箇所は、写真撮影し添付すること。

（エ）点検対象物以外の不具合についても記載すること。

（オ）目次及び見出し等を付けて見やすくすること。

（カ）総合所見を記載すること。

（8） 健康診断（検便）

水源地・浄水場・配水池等において作業する次の各号いずれかに該当する者は、検便検査を行い作業開始前にその検査報告書を提出すること。検査項目は、赤痢菌・腸チフス・パラチフス・病原性大腸菌 O-157・サルモネラ菌とし、報告書には、氏名・性別・年齢・成績・検査場所を記載すること。

ア 水工程に直接触れて作業する者

イ 水工程に直接触れないが、概ね一週間程度連続して作業する者

ウ 6か月を越えて従事する者

点検対象機器

	施設名	名称	弁種	口径(mm)	バルブコントローラ
1	社家導水ポンプ所	No. 2 導水ポンプ 吐出弁	前澤工業 横置バタフライ弁	400	ロトルクジャパン
2	社家導水ポンプ所	No. 5 導水ポンプ 吐出弁	前澤工業 横置バタフライ弁	300	ロトルクジャパン

(小計 2台)

点検対象機器

	施設名	名称	弁種	口径(mm)	バルブコントローラ
1	有馬浄水場	No. 3 活性炭吸着池 排水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	800×800	ロトルクジャパン
2	有馬浄水場	No. 4 活性炭吸着池 排水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	800×800	ロトルクジャパン
3	有馬浄水場	No. 5 活性炭吸着池 原水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	400×400	ロトルクジャパン
4	有馬浄水場	No. 5 活性炭吸着池 排水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	800×800	ロトルクジャパン
5	有馬浄水場	No. 5 活性炭吸着池 浄水弁	前澤工業 横置バタフライ弁	350	日本ギア工業
6	有馬浄水場	No. 5 活性炭吸着池 ろ過流調弁	前澤工業 立置バタフライ弁	350	日本ギア工業
7	有馬浄水場	No. 6 活性炭吸着池 原水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	400×400	ロトルクジャパン
8	有馬浄水場	No. 6 活性炭吸着池 排水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	800×800	ロトルクジャパン
9	有馬浄水場	No. 6 活性炭吸着池 浄水弁	前澤工業 横置バタフライ弁	350	日本ギア工業
10	有馬浄水場	No. 1 二層ろ過池 原水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	400×400	ロトルクジャパン
11	有馬浄水場	No. 1 二層ろ過池 浄水弁	前澤工業 横置バタフライ弁	350	日本ギア工業
12	有馬浄水場	No. 1 二層ろ過池 ろ過流調弁	前澤工業 立置バタフライ弁	350	日本ギア工業
13	有馬浄水場	No. 1 二層ろ過池 逆洗弁	クボタ 横置バタフライ弁	600	日本ギア工業
14	有馬浄水場	No. 1 二層ろ過池 表洗弁	クボタ 横置バタフライ弁	350	日本ギア工業
15	有馬浄水場	No. 2 二層ろ過池 原水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	400×400	ロトルクジャパン
16	有馬浄水場	No. 2 二層ろ過池 ろ過流調弁	前澤工業 立置バタフライ弁	350	日本ギア工業
17	有馬浄水場	No. 2 二層ろ過池 逆洗弁	クボタ 横置バタフライ弁	600	日本ギア工業
18	有馬浄水場	No. 2 二層ろ過池 表洗弁	クボタ 横置バタフライ弁	350	日本ギア工業
19	有馬浄水場	No. 3 二層ろ過池 原水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	400×400	ロトルクジャパン
20	有馬浄水場	No. 4 二層ろ過池 原水弁	栗本鐵工所 ゲート弁	400×400	ロトルクジャパン
21	有馬浄水場	逆洗流量調節弁(大)	前澤工業 立置バタフライ弁	700	ロトルクジャパン
22	有馬浄水場	No. 1 送水ポンプ 吐出弁	前澤工業 立置仕切弁	500	島津
23	有馬浄水場	No. 3 返送ポンプ 吐出弁	清水鐵工所 外ねじ式電動仕切弁	150	日本ギア工業

(小計 23台)

点検対象機器

	施設名	名称	弁種	口径(mm)	バルブコントローラ
1	田浦配水場	MV - 5	前澤工業 バタフライ弁	1350	日本ギア工業
2	田浦配水場	MV - 6	栗本鐵工所 バタフライ弁	700	西部電機
3	田浦配水場	MV - 7	クボタ バタフライ弁	800	西部電機
4	田浦配水場	MV - 10	クボタ バタフライ弁	1000	西部電機
5	田浦配水場	MV - 15	栗本鐵工所 バタフライ弁	1350	西部電機
6	田浦配水場	MV - 17 (有馬系流入)	前澤工業 バタフライ弁	700	日本ギア工業
7	田浦配水場	MV - 20 (企業団系流入)	前澤工業 バタフライ弁	500	日本ギア工業
8	田浦配水場	MV - 150	コスモ工機 バタフライ弁	1350	日本ギア工業
9	田浦第2配水池	MV - 9	前澤工業 バタフライ弁	500	西部電機
10	田浦第2配水池	MV - 18 (田浦第2流出)	前澤工業 バタフライ弁	1000	日本ギア工業
11	鷹取高区配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	400	日本ギア工業
12	十三峠配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	150	西部電機
13	逸見1号配水池	MV - 21	前澤工業 バタフライ弁	500	西部電機
14	逸見1号配水池	MV - 22	クボタ バタフライ弁	700	日本ギア工業
15	逸見1号配水池	MV - 23 (緊急遮断弁)	クボタ バタフライ弁	600	西部電機
16	逸見2号配水池	MV - 28 (緊急遮断弁)	クボタ バタフライ弁	1350	西部電機
17	逸見1・2号配水池	MV - 31 (連絡弁)	クボタ バタフライ弁	700	西部電機
18	逸見高区配水池	MV - 32 (緊急遮断弁)	前澤工業 バタフライ弁	400	西部電機
19	池上ずい道配水池	MV - 11 (流出)	前澤工業 仕切弁 (スルース)	800	西部電機
20	池上ずい道配水池	MV - 12	前澤工業 仕切弁 (スルース)	800	西部電機
21	浦賀高区配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	500	日本ギア工業
22	鴨居配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	500	日本ギア工業
23	森崎配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	600	西部電機
24	阿部倉配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	250	日本ギア工業
25	長沢低区配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	600	西部電機
26	長沢低区配水池	流入弁	前澤工業 多孔式制御弁 (縦型)	400	西部電機
27	長沢高区配水池	緊急遮断弁	栗本鐵工所 バタフライ弁	500	西部電機
28	吉井高区配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	300	日本ギア工業
29	武山高区配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	250	日本ギア工業
30	湘南国際村高区配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	250	日本ギア工業
31	岩戸配水池	緊急遮断弁	前澤工業 バタフライ弁	300	西部電機
32	武山配水池	1号流入弁	クボタ バタフライ弁	800	西部電機
33	武山配水池	2号流入弁	クボタ バタフライ弁	600	西部電機
34	武山配水池	緊急遮断弁	クボタ バタフライ弁	800	西部電機
35	三浦分水	武系	前澤工業 バタフライ弁	300	日本ギア工業
36	三浦分水	津久井系	前澤工業 バタフライ弁	400	西部電機
37	三浦分水	津久井第2系	前澤工業 バタフライ弁	400	日本ギア工業

(小計 37台)

(合計 62台)